

# 「オリンピック文化論：スポーツ人間学 A」の工夫

基礎教育センター 助教授

舛本 直文

本授業における工夫の一部を PLAN-D0-SEE-Re・PLAN という授業の段階に対応して紹介する。

PLAN：授業計画；

1. 教養教育（基礎教育とは？）の再確認（専門教育との対比）：教養教育＝総合化・統合化の方針強調
2. シラバス作成・配布（全学シラバスの他に詳細なコースアウトラインを作成）：学生の選択材料・進捗計画・契約・学術的価値・文献資料を盛り込む。
3. 学生希望を取り入れシラバス再作成・次週配布

D0：授業の実施

1. 授業実施；在宅学習と授業時間学習の明示
2. AV ライブラリーでの映像利用
3. W-UP リポートとまとめリポート、次週コメント返却

SEE：授業の点検・評価

1. 毎日のミニ・リポートとまとめリポート
2. 自己授業評価
3. 最終総合リポート
4. SE の学生の声

Re・Plan：次年度再計画へ

PLAN：授業計画

ここでは、まずオリエンテーションで教養教育＝基礎教育の目的・目標を専門科目と対比しながら確認する。また、単位制の構造と教室時間数と在宅授業時間数の関係を詳細に説明する。

教養教育とは「総合化・統合化の教育」であることを強調し、様々な知見、授業中の様々な情報をもとに、自分の生きた知として総合化することを課題にさせる。

次ページ以降の詳細シラバス（コースアウトライン）を作成・配布する。このシラバスでは、全学のシラバスで十分に示すことができない学生の選択判断材料、進捗計画と在宅学習課題、評価や在宅学習の契約に関する事項、学術的価値を盛り込むこと、参考文献を明示することを心がける。第1回目のオリエンテーションで授業方針を強調し、詳細シラバス（コースアウトライン）を説明し、学生の授業に対する希望を聴取する。次週、学生から要望が多いものをコースアウトラインの修正に反映して再配布する。希望が少ない事項は、予定したコースアウトラインに従って授業を進める。

基礎教育科目は、特に教養としての総合化・統合化への工夫を心がける。特に、自分の身になって考えること、自分に置き換えて考えることを重要視させる。

D0：授業実施

まず、在宅学習と授業時間内学習の違いと必要性を理解させることによって、学習の心構えをつくる。在宅学習は別名 W-UP ミニ・リポートと称し、テキストを含め、文献や表記に対するクリティークを行わせるとともに、基本的事項を事前に予習させる。これは授業に臨む前の事前準備態勢を整えるために行っている。

前週：この W-UP ミニ・リポート用紙を配布す

る。その予習課題は詳細シラバスに明示してあるので、欠席しても課題が分かるようにしてある。

当日：アウトラインと重要なポイント、まとめの課題を指摘し、授業を開始する。授業はAV棟でライブラリーや授業用の映像を利用しながら展開するが、受講生は映像を見ながら解釈と考察を行う。最後15分間でまとめレポートによる総合化や質問などを記入して提出させる。最後に、次週のミニ・レポート用紙を配布する。

次週：ミニ・レポートは必要なコメントを記し採点し返却する。出席点とミニ・レポート点はパソコン管理する。

最終：総合化レポートを課し、自分の身になって関心あるテーマをめぐって図示することで総合化させる。

SEE：様々な評価とFB

以下のような情報から自己点検・評価を行なう。

1. 毎日のW・UPミニ・レポートとまとめレポート：W-UP内容とテキスト・クリティークのレベルと内容。これは採点し、コメントを付け次週返却する。(学生の理解状況を把握するとともに、質問にも対応する。次週補足する場合もある。)

2. 自分自身の授業ノート：授業後に自分自身の授業を振り返って記録し、それに授業評価を付与する。さらに改善へのコメントを記載しておく。

3. 学生の最終総合レポート：学んだ全体の内容の図示と文章説明を行わせる。それによって、総合化の能力の習得度合いを判定する。

4. SEによる学生の声：今年度はFD委員会の統一SEを行った。従来は'98より講義に対して自主的にSEを実施してきている。

Re・Plan：次年度再計画へ

本授業は、本年度から新規に開講した科目なので、来年度に向けて再構成することは必ずである。

**首都大学「オリンピック文化論」(都立大:「スポーツ人間学A:スポーツ映像文化論」)コースアウトライ  
ン**

授業番号: 首都大B592/都立大A282

**1. 講義題目:「オリンピック文化論」/都立大「スポーツ人間学A」**

**2. 担当: 舩本 直文(基礎教育センター・助教授):** 連絡先: 体育研究棟220室/TEL:0426-77-2974(DD)  
E-mail: masumoto-naofumi@c.metro-u.ac.jp

**3. 単位・学期: 2単位 ・ 前期** (選択科目)(人間健康科学副専攻の選択必修科目)

**曜日・時限: 木曜日-2時限**

**場所: AV棟263教室**

**4. 目的ねらい:** ①近代オリンピックの始源を辿り、オリンピックというメガ・イベントが抱えている諸問題を横断的・総合的に考え、若者の調和のとれた教育と世界平和を目指す運動としてのオリンピックの文化性を探る。  
②テキストや映画を受け売りすることなく、テキスト・クリティークする能力を養うとともに、自分の考えを表現する能力を身につける。  
③さらに、オリンピックを全く別次元のことと見なさないで、自分の現実の生活と関連づけながら、メディアの問題性をも視野に入れたメディア・リテラシーの能力に支えられて、オリンピック文化に関して「幅広くかつ深く知る」ことを目的とする。

**KW: オリンピズム、オリンピック・ムーブメント、クーベルタン、オリンピック・リテラシー**

**5. 性格・対象:** 首都大: 都市教養プログラム(テーマ「文化・芸術・歴史」/系「人文・社会科学系Ⅱ」)  
都立大: 全学共通科目(社会科学系)「スポーツ人間学A」  
**スポーツ文化・映像文化に興味関心のあるもの。**

**6. 各回の概要(次ページに予定を示したが、受講者の希望を参考にして第2週に確定する。)**

**7. 成績評価:** 出席2/3以上が成績対象者とする。  
◎毎回のミニ・レポートと総合レポートの記述内容、およびアランダムなミニ・レポートの公表点で主配分とする。

◎AV利用のため遅刻しないように注意すること。映像を観ないと分からない点があるため。

評価配分: ①出席3分の2以上が成績有資格者(総合レポート提出の資格を得る)

②ミニ・レポート内容点(48点: 12回\* 4=48)

③ミニ・レポート公表点(10点: 1回\* 10=10)

④総合レポート(42点)

**8. 授業の進め方:** ◎1つの主題(テーマ)を巡り、横断的、総合的な思考によってオリンピック文化に関する統合的な知を身につける。  
テーマ例: オリンピックの歴史、政治、ドーピング、商業主義、テレビ放映権などのビジネス問題、ユーロセントリズム、平和運動、オリンピズムなど。  
◎可能な限りAV教材を活用することで視覚的に「知ること」を可能にしたい。毎回のW-upミニ・レポートで授業の準備(在宅学習)をしてきて理解の手助けとするとともに、テキスト・クリティークの能力を身につける。さらに、各テーマの個別的な分析だけでなく、幅広く深い教養と総合的理解力を身につけるような授業を目指す。

**9. 展 開:** AV教材、映画の活用、ダイジェスト版や2回にわたって上映する場合もある。

**10. 希 望:** シラバスの作成上、一部希望を参考に取り入れる。

**11. 出 席:** ミニ・レポートと一緒に(遅刻不可)

**12. ミニ・レポート:** ①前回予告した事項を調べてくる: W-upウォーミング・アップとしての在宅学習(4時間/週)  
②テキストや文献の批判的検討(テキスト・クリティーク)と自己意見の表明  
③まとめレポート: 授業中に理解したことのポイント整理。さらなる疑問、質問などを記述する。

**13. 公 表:** ミニ・レポート内容の公表(プレゼンテーション: 1回に 4, 5人、可能ならQ&Aも、多人数の場合中止)

**14. テキスト:** 舩本直文(2000)スポーツ映像のエピステーメー. 新評論. 3,200円/生協価格: 3,024円

**15. 参考文献:** 日本オリンピック・アカデミー編(2004). 21世紀オリンピック豆事典. (株)楽. 定価: 1,000円(税込み)

**16. 関連授業:** 首都大: 「身体運動学5」(都立大: 「保健体育理論4」)(後期: 月-4)  
都立大: 「教育学特殊講義」(後期: 木-3)

**17. 備 考:** 最終時に学生による授業評価を実施する。希望者には結果を公表。  
☆AV室は配線等のため、飲食物の持ち込みが禁止されている。注意すること。

\*\*\*\*\*

<本年度のコース予定>

- 第1回目:①ガイダンス=教養科目とは? メディア・リテラシーとは?  
04.14 ②授業のオリエンテーション・希望調査、シラバス修正・テキストの紹介  
③AV資料チェック(making the "Forrest Gump"によりCGIについて確認する)

<第2回目以降は受講生の希望を参考にして決定するため、こちらで準備したものが以下に示してある。>

第2回目:近代オリンピックの始源:古代ギリシャの4大祭典競技から古代オリンピック競技の様子を探る

- 04.21 宗教性、身体性、政治性、プロ主義など  
題材:『世界遺産:オリンピア』  
W-up Rep①古代オリンピック競技とは ②アスリートの語源 ③4大祭典競技とは?

第3回目:近代オリンピックの復興:クーベルタンの思いと芸術競技

- 04.28 題材:『NHKアボロンの歌』  
W-up Rep①クーベルタンとは? ②芸術競技とは? ③クーベルタンの格言とは?

第4回目:オリンピックと政治:ヒトラーの野望とレニ・リーフェンシュタールの映像の力:『オリンピア』

- 05.12 題材:『オリンピア』  
W-up Rep①ナチ・オリンピックとは? ②リーフェンシュタールとは? ③モンタージュとは?

第5回目:市川 崑監督の捉えたオリンピズム:映画『東京オリンピック』と芸術か記録か論争

- 05.19 題材:『東京オリンピック』  
W-upRep①オリンピズムとは? ②芸術か記録か論争とは? ③太陽のシンボリズムとは?

第6回目:オリンピックと宗教・差別:走る目的、英国エリート教育とスポーツ

- 05.26 ランナー達の走る目的、アマチュアリズムとエリート教育、原題Chariots of Fireの意味。  
題材:『炎のランナー』  
W-upRep①キリスト教の安息日とは? ②身体強健なキリスト教徒とは? ③ユダヤ人差別の理由?

第7回目:商業五輪の台頭:ピーター・ユベロスの登場と1984年ロス方式、そしてサマランチ戦略

- 06.02 なぜ各都市がオリンピックを開催したがるのか? なぜオリンピックは儲かるのか?  
題材:『NHK、BBC特集』  
W-upRep①五輪のロス方式とは? ②スポーツの商業主義とは? ③サマランチとはどんな人?

第8回目:オリンピックにおける人種差別と抵抗運動

- 06.09 オリンピックにも人種差別があるのか? 1968年メキシコ大会の黒人抵抗運動とは?  
題材:NHK、BBC特集&『ロンリー・ウェイ』  
W-upRep①アメリカインディアンとの差別とは? ②アメリカインディアンとマスコット問題とは?  
③メキシコ大会で選手村を開放された200mランナー達は誰?

第9回目:オリンピックの地勢学とユーロセントリズム:『クール・ランニング』からの示唆

- 06.16 ヨーロッパ中心のメガイベントの状況を理解する。南国チームが冬季五輪に出場するとおかしい?  
題材:『クール・ランニング』  
W-upRep①ヨーロッパ中心主義とは? ②クール・ランニングとはどんな意味? ③ラスタファリアニズムとは?

第10回目:薬物乱用とオリンピック:なぜ薬に手を出してまで勝とうとするのか?

- 06.23 ドーピングの現状は? 何故ドーピングは禁止されるべきなのか?  
題材:『フィニッシュ・ライン』  
W-upRep①ドーピングとは? ②よく知っている身近な薬物とは? ③何故ドーピングは禁止される?

第11回目:オリンピックと国際理解教育:オリンピックの目的とは?

- 06.30 一校・一国運動、国際理解教育とオリンピックについて知る。  
題材:『NHK特集』『長野組織委員会VTR』  
W-upRep①一校・一国運動とは? ②オリンピック憲章の根本原則とは? ③オリンピック教育とは?

第12回目:休講(府大戦のため。皆さんでしっかり応援しましょう。)

07.07

第13回目:オリンピックと平和:国連と「国際オリンピック休戦センター」

- 07.14 オリンピックと国際オリンピック休戦センターや国連の活動について知る。  
題材:『NHK鳥たちの歌』ほか  
W-upRep①エケケイリアとは? ②オリンピック休戦センターとは? ③オリンピックの平和のシンボルは何?

第14回目:スポーツ報道問題(商業主義と公共性):メディアリテラシー/感動考およびオリンピック・リテラシーの必要性

- 07.21 題材:HNC「スポーツメディアの現実」など  
W-upRep①メディアリテラシーとは? ②TVのユニバーサルアクセス権とは? ③スポーツ報道に感動は必要か?

第15回目:総合レポート(シンセシス)(試験期間)

これまでの各テーマの分析(アナリシス)で得られた資料や知見をもとに、文化としてのオリンピックの諸相を総合化(シンセシス)して全体的な知として捉え直す。それをさらに、自分の生きた知へと変換する。

①まず自分の関心テーマを設定する(例えば、オリンピックと政治問題、人種問題、ドーピング、ジェンダー、メディア、スポーツと宗教、

- オリンピックと地政学など)。レポートの題は自分で設定する。  
②そのテーマに関する授業内容や自分の調べてきたことを関連づけて図示する(関係図の作成)。  
③その図に対して説明を加えて、総合的に論述する(総合とまとめ)。

### <文献リスト>

1. テキスト: 舛本直文(2000)スポーツ映像のエピステーメー. 新評論.
2. 基礎文献: 日本オリンピック・アカデミー編(2004). 21世紀オリンピック豆事典. (株)楽.

### 3. <辞書・事典>

- ・平凡社大百科事典
- ・広辞苑第5版
- ・岩波哲学・思想事典
- ・平凡社哲学事典
- ・大修館書店 最新スポーツ大事典

### <オリンピック>

4. 日本オリンピック委員会監修(1981)オリンピック事典. プレス・ギムナスチカ: 東京(体育蔵)
5. 日本オリンピック委員会監修(1994)近代オリンピック100年の歩み. ベースボールマガジン社(体育蔵)
6. 西川 亮・後藤 淳(1988)古代オリンピックの旅. 協同出版. (体育蔵)

### <クーベルタン>

7. ジョン・J・マカルーン(1988)オリンピックと近代: 評伝クーベルタン. 平凡社(舛本蔵)
8. 清水重勇(1998)スポーツと近代教育: フランス体育思想史. 紫峰図書. (体育蔵)

### <ナチ・オリンピック&レニ・リーフェンシュタール>

- 大澤武男(1991)ユダヤ人とドイツ. 講談社現代新書(舛本蔵)<その他ユダヤ人問題は図書館多蔵>  
ダフ・ハート・デイビス(1988)ヒトラーへの聖火: ベルリン・オリンピック. 東京書籍(体育蔵)  
マンデル(田島直人訳)(1976)ナチ・オリンピック. ベースボール・マガジン社(舛本蔵)  
レニ・リーフェンシュタール(1991)回想(上・下)文藝春秋(人文学部独文研・体育蔵)  
グレン・B・インフィールド(1981)レニ・リーフェンシュタール. リブリポート. (体育蔵)  
沢木耕太郎(1998)オリンピア. 集英社. (人文: 中文・舛本蔵)  
平井正(1999)レニ・リーフェンシュタール. 昌文社. (舛本蔵)

### <東京オリンピック&オリンピズム>

- 舛本直文(1998)「オリンピズム」に関する研究動向. 体育原理研究28:45-56.(舛本蔵)  
舛本直文(1998)映画に学ぶスポーツ文化21『東京オリンピック』体育科教育12月号p.53(体育・舛本蔵)  
アンドリュウ・ジェニングス(1998)オリンピックの汚れた貴族. サイエントリスト社.(舛本蔵)  
舛本直文(2000)オリンピズムの映像表現に関する文化解釈学的研究. 科研報告書2000.(舛本・図書館蔵)

### <炎のランナー>

- 大澤武男(1991)ユダヤ人とドイツ. 講談社現代新書(舛本蔵)<その他ユダヤ人問題は図書館多蔵>  
阿彦周宜(1989)炎のランナー-Chariots of Fire. 松柏社(舛本蔵)  
M.Morris(ed)Chariots of Fire.Thomas Nelson Ltd.(体育蔵)  
舛本直文(1995)『炎のランナー』再解釈: スポーツ映像の象徴的意味. 体育・スポーツ哲学研究17-2:51-64.(舛本所有)

### <人種差別ーネイティブアメリカン>

- 野村達朗(1992)「民族」で読むアメリカ. 講談社現代新書(舛本蔵)  
斉藤眞(1976)アメリカ現代史. 山川出版, pp.312-313.(体育蔵)  
毎日新聞, 1964.10.15縮刷版(図書館蔵)  
平野孝・本間長世(1977)アメリカ古典文庫: アメリカ・インディアン. 研究社. (体育蔵)  
ウオッシュバーン(1977)アメリカ・インディアンーその文化と歴史, 南雲堂(体育蔵)

### <クールランニング>

- 平井肇(1997)映画に学ぶスポーツ文化③『クール・ランニング』体育科教育11月p.56.(体育・舛本蔵)

### <長野冬季五輪>

- 鷹野春彦(1999)わが永遠の長野五輪. 信濃毎日新聞社(体育蔵)  
相川俊英(1998)長野オリンピック騒動記. 草思社(舛本蔵)  
文屋(編)(2002)みんなともだち: 世界に広がる一校一国運動. (社)長野国際親善クラブ(舛本蔵)

### <オリンピック休戦>

- 舛本直文(2005)JOAReview

### <ドーピング>

- WADA Unti-Doping code  
長井辰男他(1996)薬まみれの英雄たち. メトロポリタン(体育蔵)  
全国体育系大学学長・学部長会編著(1997)スポーツとアンチ・ドーピング. Book House HD(舛本蔵).  
松瀬学(1996)汚れた金メダル. 文藝春秋社(図書館・体育蔵)

### <メディア・リテラシー>

- 鈴木みどり(編)(1997)メディア・リテラシーを学ぶ人のために. 世界思想社(舛本蔵)  
市川克美他(1997)メディア・リテラシー. NIPPORO文庫(体育蔵)  
カナダ・オンタリオ州教育省(1992)メディア・リテラシー: マスメディアを読み解く. リベルタ出版(体育蔵)  
菅野明子(2000)メディア・リテラシー: 世界の現場から. 岩波新書(舛本蔵)

☆以上はあくまでも参考です。その他に多くの良書があります。また、インターネットで確度の高い情報を得ることができます。ただし、情報の出所をよく判断して利用して下さい。